

基本方針1 大阪府立図書館は、市町村立図書館を支え、大阪府全域の図書館サービスを発展させます。

重点目標 1-2	府域図書館職員のスキルの向上を図るため、研修事業を充実させます。			
評価 (25年度)		【評価の理由】 研修実施日数、参加者数共に目標値を大きく上回り、満足度も目標値を概ね達成することができた。 経験年数や専門分野により研修内容を分け、参加者のニーズにより合ったものにしたことが多くの参加者を獲得した一因と考えられる。また、アンケート結果からさらに細かなニーズを把握し、26年度以降の布石とした。		
重点指標	24年度末 実績	目標	25年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
研修実施日数	21	毎年 20 日	31	
参加者満足度(10 点中)	9.7	毎年平均 9.0 以上	8.9	
研修のべ参加者数	518	毎年 600	1,117	
【アクション・プラン】				
	取組み		達成状況	
平成 25 年度	(1)「出前講習」の拡充 (2)司書セミナー等の、これまで府立図書館で行ってきた研修を着実に実施 (3)府域職員を対象とした研修の、体系的な計画の策定		(1)府立両館で分担し、出前講習年間実施回数を増加、府域図書館のニーズに合わせた研修を実施 (2)司書セミナーや児童サービス研修等、図書館員の経験年数・専門分野に合わせた研修を実施 (3)初任者向け等の研修を新規実施。各研修の受講対象、内容および今年度のアンケート結果等を分析し、より多くの図書館員が受講の機会を持つことができるよう次年度研修計画を策定	
平成 26 年度	(1)引き続き、両館専門分野を生かし細かなニーズに対応する研修を実施 (2)アンケート結果を分析し、次年度研修計画を策定			
平成 27 年度				
【アクション・プランのねらい】（25 年度当初に記入） ・府域内図書館の規模や地域性によって違ってくる利用者のニーズに各図書館職員が対応できるように、オーダーに合わせた「出前講習」をすることにより、府域内図書館職員のスキルアップの支援を行う。 ・経験年数や担当業務によってスキルアップへの要求内容も変わってくることから、図書館員のレベルに合わせた研修も行えるように計画する。組織的なニーズと職員個々のニーズを満たす研修を実施することにより体系的な研修計画の策定に向けて検討する。				